

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 22 日

事務事業名		水質検査事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	040801000597
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	070201
		0408 上水道の整備			主要事業		水道課	
政策体系		政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり	市長マニフェスト			
		施策名	08	上水道の整備	未来PJ事業		グループ	
		基本事業名	01	上水道の安定供給及び施設の適正管理	合併建設計画事業		工務グループ	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (年度~)	
法令根拠		水道法			期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
市民が直接飲料する水を提供しており、安心して使用できるようにするため、また、水道法においても配水水質基準を設けているため実施している。浄水場、配水場(6カ所)の水質検査委託料 ・富谷配水場 ・堤上浄・配水場 ・真壁浄水場 ・羽田配水場 ・大菅根浄水場 ・高久浄水場	定期的水質検査を江東微生物研究所に委託、また、年1回原水の水質検査を実施している。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
年1回原水と定期的に(月1回)水質検査を実施している。市民が直接飲料する水を提供しており、安心して使用できるようにするため、また、水道法においても配水水質基準を設けているため実施している。	定期水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	原水水質検査回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
水道水	年間給水量(有収水量)	千m ³	2,757.00	2,749.00	2,770.00	2,770.00	2,770.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
安全な水道水であることを保証し、また水道事業体自らも確認する。 ※水道法水質基準項目の検査方法及び採水方法による	水質試験検査項目数	項目	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移		27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入 事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,809	1,803	1,803	1,805	1,805
	事業費計(A)	千円	1,809	1,803	1,803	1,805	1,805	0
量 人件費	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人	5.00人	5.00人	
	述べ業務時間	時間	208.00	212.00	210.00	210.00	210.00	
	人件費計(B)	千円	603	615	609	609	621	
トータルコスト(A)+(B)		千円	2,412	2,418	2,412	2,414	2,426	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	13 委託料	1,803		13 委託料	1,803	
	合計	1,803		合計	1,803	

(4) 当該年度の実施内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業			

事務事業名	水質検査事業	事務事業No.	40801000597	所属課	水道課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 水道法に基づき実施
 年々水質基準が厳しくなっているため検査費用が増加していく。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特にありません。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持	
------	--

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 安心・安全な水道水を供給することで、生活環境の充実が図られている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 水道法に規定する水質基準に適合した水道水を供給する義務がある。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 水道法により定められた検査項目を定められた検査方法で検査するため
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 定期的な水質検査は、安心・安全な水道水を供給するには必要不可欠であるため。※事務事業を廃止・休止した場合、給水を辞めざるを得なくなる
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 水道法に定められた検査の為、統廃合及び連携の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 水道法により検査項目と検査方法が定められており、事業費の削減は望めない。また、検査結果に対する精度管理が求められており、専門知識を有する者を配置していかなければならず、人件費の削減も望めない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 料金査定に組み込まれており、適正な受益者負担になっている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	水道法に定められた水質基準を遵守し、市民の皆様が直接飲用する水を安心して使用できるように実施してきた。今後も事業を継続し、安心・安全な水道水の供給に努めていく。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果 ④																								
コスト削減優先度評価結果 ⑧																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>